

サンククリア工法

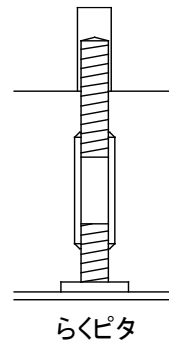
建設技術証明 第1103号

NETIS登録 CG-080009-V(旧)

◆サンククリア工法とは

プレキャスト製品の据付時に、ツメ付ジャッキで高さを調整します。調整後、予め取付けた高さ調整ボルト「らくピタ」で製品を基礎より浮かせて設置。その隙間へ後打ちコンクリートを充填して製品と基面を一体化させる工法です。

強固な構造、現場作業の環境改善、施工時間の短縮が図れます。サンククリア工法は、省人・省力化を可能とした「トータルコスト削減工法」です。



◆特徴

簡単施工

ツメ付ジャッキによる高さ調整で、女性や高齢者の方にも無理なく据付ができます。

安全施工

高さ調整ボルト「らくピタ」と製品底面の突起 又は鉄筋により、手足の挟まれなどを防止します。

完全一体化

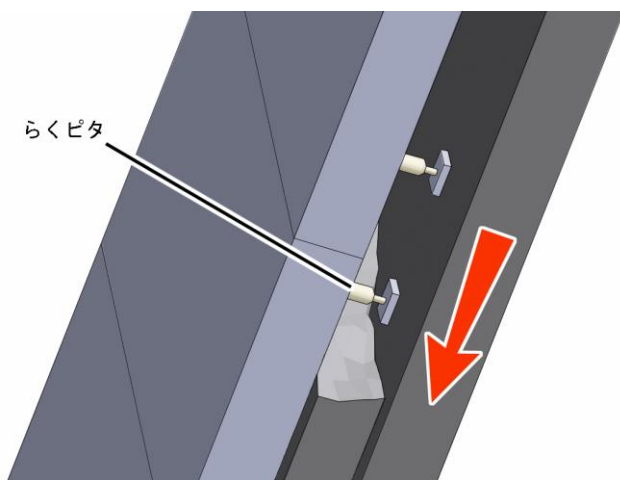
製品に埋め込まれた鉄筋と後打ちコンクリートが一体化します。敷モルタル不要で基礎上面での滑動の心配も皆無です。

応用施工

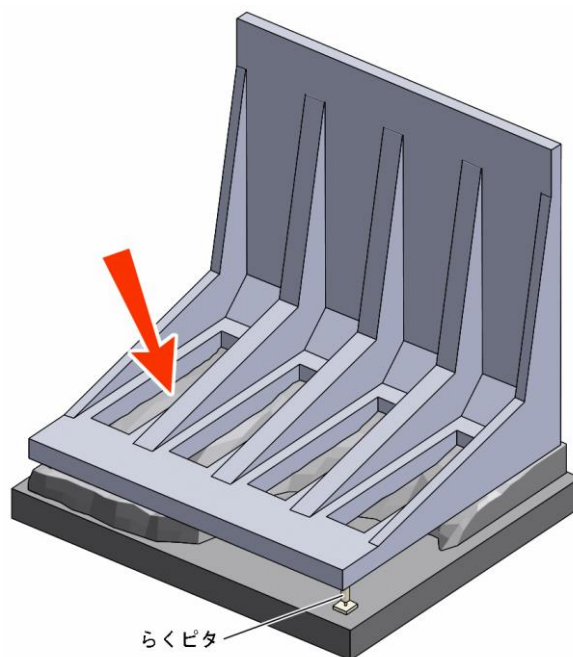
製品が大型化するほど、より工法の機能が発揮されます。パネル・階段・水路・L型擁壁・カルバート・境界ブロック など、幅広く応用ができます。

施工イメージ

「らくピタ」で製品を『浮いた状態』にして、空いた空間に後打ちコンクリートを充填。製品と基面を一体化させます。※イメージ図は工法部分がわかりやすいようにデフォルメしています。



大型張りブロック
(2000×1000×120~170)



L型擁壁 ミルウォール

※詳細については 各製品/工法カタログをご参照、またはお問い合わせください。
記載内容はすべて参考としてお取り扱いください。また予告なく内容を変更する場合がありますのでご了承ください。